



下郷中だより

◇下郷中学校教育目標◇

「知性」「品格」「健康」

○教育目標達成の合言葉

「笑顔・あいさつ・思いやり・清掃」

No. 6 令和4年 9月30日(金)

文責 下郷中学校長 我妻雄比古

「郡中体連新人体育大会」

台風14号の影響により順延となりましたが、9月21日・22日の2日間にわたって郡新人体育大会が行われました。壮行会では私から先ずは「自分に勝つ」という激励の言葉を生徒たちに贈りましたが、その言葉通り、部員一人一人が強い気持ちでベストを尽くし最後まであきらめることなく頑張ることができたと思います。全会津大会にコマを進めた部は、郡大会より厳しい試合になると予想されますが、生徒たちの力は、今、限りなく伸びています。「勝っておごらず、負けてくさらず!」を肝に銘じさらなる高みを目指して、今回の大会で学んだ点をこれからの練習や試合に生かして欲しいと思います。応援いただいた保護者や地域の皆様に心より感謝申し上げます。

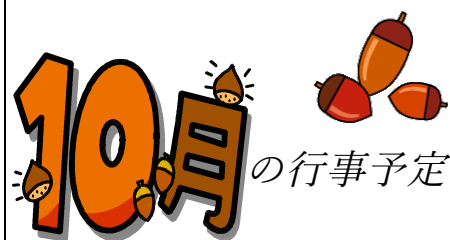
〈主な入賞記録〉

- バスケットボール 第2位
- 卓球 女子団体 第2位
- 1年S 第1位 小椋唯花

- オープンS 第1位 阿部心優姫
- 第2位 渡部結愛
- 第3位 渡部桃子



「地域学習より」



1		11	小6年体験入学・体験部活(予定)	21	下中祭準備
2		12		22	下中祭
3	避難訓練・書写指導	13	職員会議	23	
4	歯科検診	14		24	振休
5	芸術鑑賞教室	15		25	
6	県中教研協議会	16		26	
7	歯科検診	17		27	
8		18		28	QU検査(1・2年)
9		19	郡小中音楽祭	29	
10	スポーツの日	20		30	
※ 新型コロナウイルス感染症の状況によっては変更になることがあります。				31	ブリヒル体験(3年生)



裏面もご覧ください

学校での活動の様子を随時ホームページでお知らせしています。是非ご覧下さい。
下郷町教育ポータルから検索 <https://shimogo.fcs.ed.jp/> 下郷中学校

「講演会等より」



9月16日に、ゼスプリインターナショナルジャパンマーケティング部の猪股可奈子様を講師にお招きして3年生のキャリア教育を行いました。生徒より事前に質問させていただいたこと等について、経験談を交えながらお話しいただきました。世界で活躍する南会津の先輩の話に興味深く聞いていました。生徒より「南会津にもこういう人がいるんだと思った。」「自分の好きなことや得意なことを見つけるために行動を起こして探すことの大切さがわかった。」「CM制作やマーケティングの仕事も初めて知ることばかりでとても楽しかった。」等の感想が寄せられました。

また、9月25日には竹下和男先生の「食育講演会」を実施しました。先生は、香川県内の小中学校の校長を歴任され、2010年度からは多くの執筆・講演活動をされており、家族の絆や学びを支える感性・生活体験・食文化が人間を育てるなどをテーマとした講演会を行っており、「子どもがつくる弁当の日」の提唱者でいらっしゃいます。「ヒトは食により人となる」と題してお話しいただきました。話の冒頭でベストセラーとなった「はなちゃんのみそ汁」の紹介がありました。目頭が熱くなりました。弁当作りを通して、「子供たちの感性が磨かれること」「人に喜ばれることが快く思うようになること」「感謝の気持ちで物事を受け止められるようになること」等、事例に基づきながら深く心に響くお話をさせていただきました。



「転入先生紹介」

※ このコーナーでは、今年度転入された先生方を紹介して参ります。

第4回 小椋 裕先生（2学年主任・保健体育）

1 出身地

南会津郡南会津町（旧伊南村）

2 趣味

スポーツをする・観る・支えること。お酒を飲むこと



3 座右の銘

「継続は力なり」

どんなことでも継続することで力がついてくるとともに、続けること自体が努力する姿として大切だと思う。

4 教員を目指した理由

中学生の頃に体育の先生にあこがれたことと、スポーツを通して沢山の思い出や全国各地に多くの友人ができたことから同じように教師として子ども達に伝えていきたいと思ったから。

5 中学生時はどのような生徒でしたか？

野球部員として活動するかたわら特設陸上、駅伝、水泳、合唱、クロスカントリースキーと、一年中、目標に向かって活動していました。多忙な中でも生徒会役員も経験することができ、色々なことに挑戦した3年間でした。その経験が高校・大学そして教員になってからもチャレンジ精神として活かされてきたように思います。

6 今一番はまっていること

中国時代劇映画。毎朝の犬の散歩。



7 下郷中の生徒について

昭和61年から平成元年までの4年間下郷中で勤務していた当時の生徒が親となり、その子ども達が生徒として目の前にいる状況です。教師として育てていただいた下郷中への感謝の気持ちを胸に、目の前にいる子ども達を精一杯サポートしていきたいと思っています。生徒の皆さんには、これからもいつでも誰にでも元気なあいさつができる下中生であってほしいと願っています。